初詣「清荒神」 日本主婦連合会

バスツアー

令和7年笑顔のスタート

塩田温泉でほっこり

バスツアーに参加したみなさん

令和7年1月9日(木)、日本主婦連合会の恒例、初詣が開催されました。午前8時、新大阪より貸切バスに34名を乗せて出発です。氷雨が降る寒い日でしたが笑顔満開のバスの車中、副会長から「寒い中ではありますが、足元に注意して、楽しい初詣にしたく思います。」とのあいさつがありました。

本年は、台所・火の神様である「清荒神」への初詣です。本来31日から三が日は、多くの人で賑わいますが、9日当日は、スムーズにお参りができました。ここは清荒神さんとの愛称で親しまれる寺で正式には清荒神清澄寺といいます。

家内安全、厄除開運、商売繁昌と飲食店や火に関係のある方々が多く見えるとのことです。場内には大小さまざまな火箸が奉納されており、中には人の背丈ほどのものもあります。そして、「鉄斎美術館」も併設されています。参拝帰りに、奈良漬が安く売られていて多くの方が買われていました。10時すぎ荒神さんを後にし、塩田温泉へと向かい、塩田温泉「夢乃井」で夢さき御膳が用意されていました。寝屋川支部の会長より乾杯のごあいさつがあり、食事や歓談で楽しみました。

又、温泉にはジャグジー付大浴場や桧露天風呂があり、数名の方は、自然の中でのお湯に、ほっこり温まりました。宿の方々にお見送りを頂き、次の目的地「ヤマサ蒲鉾夢鮮館」の工場見学へ。ちくわや蒲鉾の工場ですが、魚臭くもなく、きれいな環境で、魚のスリ身から味付けまでは、すべて同じで、ここからカニかま・ちくわ・揚げてんぷらに変身していく様子が興味深かったです。特にカニ風味食感のカニカマは、細く伸ばしたスリ身を斜めに置くことにより、本物のカニ肉のような食感になるとの事。人間の知恵に感心しました。試食コーナーもあり、皆様味見されては、お買い物をされていました。長ーいチーズかまぼこが人気のようでした。

ヤマサ蒲鉾工場へ、姫路城好古園へ

最後に世界遺産姫路城を背景した本格的な日本庭園「姫路城西御屋敷跡庭園・好古園」の見学。お城は何度か行きましたが私は、好古園は初めて見学し、広さと美しさに感激いたしました。中は①御屋敷の庭②活水軒（レストラン）③渡り廊下④潮音斎（中秋の名月を愛でる最高の方向にある）⑤苗の庭⑥茶の庭⑦双樹庵（お茶室）⑧流れの平庭⑨夏木の庭⑩松の庭⑪花の庭⑫築山池泉の庭⑬竹の庭と分かれており、四季折々の風情が楽しめ愛でることができる、本当に贅沢な庭園でした。

見学が終わり、駐車場横の茶店で、甘酒・豆大福に舌鼓。そして帰路につきました。

バスの中では、ビンゴゲームもあり、甲乙つけがたい商品をゲットされていました。